

目次

分枝長あいさつ	秋田大学男鹿なまはげ分枝長 茂木 優	・ ・ 1
平成25年度活動実績	2
アンケート・感想	6
分枝に関する新聞記事	18

分校長あいさつ

秋田大学は平成 25 年 9 月 30 日、県央地区の地域貢献活動の拠点として男鹿市に「男鹿なまはげ分校」を開設しました。

平成 23 年 2 月、本学と男鹿市は連携に関する協定を締結し、若美庁舎内にオープンしたジオパーク学習センターを活用しながら、地域振興の発展、本学の教育研究資源や学生力を活用した地域教育力の底上げを掲げ活動しております。

ご存知のように、この地は風光明媚な男鹿半島をはじめとする豊かな自然環境や地域資源に恵まれています。この資源を活用した食文化、教育活動など「地域との力」をさらに結集し、魅力と活力ある男鹿市を次世代に継承していきます。

男鹿なまはげ分校を通じて本学の学生力を生かし、地域が活性化するよう市民の皆さまとともに活動してまいります。



秋田大学男鹿なまはげ分校長 茂木 優
(平成 26 年 3 月就任)

活動方針

男鹿市と秋田大学においては平成 23 年 2 月 17 日連携に関する協定を締結しました。それぞれの資源や機能活用を図りながら幅広い分野で相互に協力し地域社会の発展を目指すという主旨で、具体的な連携協力事項として、ジオパーク活動を通じた地域振興と、秋田大学の教育研究資源や学生力を活用した地域教育力の底上げを掲げ活動を展開してきました。

こうした活動を一層力強く前進させるため、男鹿市役所本庁舎内に地域活性化に向けた活動拠点として『男鹿なまはげ分校』を開設し、地域のニーズをふまえ再構築した『交流人口の増加と、男鹿市児童生徒の学力底上げ促進』を基本コンセプトに、首都圏大学の文化系・体育系クラブの宿泊合宿誘致、学生力を活用した児童生徒の自学自習支援、児童生徒の医学部訪問によるキャリアモチベーションアップ、大学教員講座を織り交ぜた市民の健康づくりをサポートする総合的体操教室等、地域の活性化に寄与する様々な活動を地域の皆様や行政と協働で実践してまいります。

平成25年度活動実績

開設記念行事

実施日 平成25年9月30日(月)

会場 男鹿市役所本庁舎、男鹿市民文化会館

内容 分校看板の上掲式

記者会見

記念行事

男鹿市民の歌、秋田大学学生歌、他 合唱

秋田大学混声合唱団 A. Choir (エース・クワイ)

記念講演「映画製作に賭ける熱い想い。」～映画には生きるヒントがいっぱい！～

秋田大学客員教授、映画監督 若松 節朗 氏

秋田大学は9月30日、県央地域における地域貢献活動の拠点として、横手市、北秋田市に続く県内3校目の分校を男鹿市に開設した。

当日は開設を記念し分校看板の上掲式を行い、吉村秋田大学長(当時)と渡部男鹿市長の手で男鹿市役所本庁舎正面玄関に看板が掲げられ、引き続き、秋田大学と男鹿市による共同記者会見を行った。

会場を男鹿市民文化会館に移して行われた記念行事には約200名の参加があり、挨拶に立った吉村秋田大学長は、「男鹿温泉郷を含め男鹿市がまるごと分校のキャンパス、男鹿市の文化活動や教育活動に秋田大学の総力を挙げて貢献して参りたい。」と力強く抱負を述べた。続いて、秋田大学混声合唱団(A. Choir)が『男鹿市民の歌』や『秋田県民歌』など6曲の合唱を披露、会場には手拍子もおこり大いに盛り上がりを見せた。

また、秋田大学客員教授で映画監督の若松節朗氏が「映画製作に賭ける熱い想い。～映画には生きるヒントがいっぱい！～」と題し講演を行い、撮影現場での俳優陣とのやり取りをユーモアを交え披露しながら、映画監督は俳優という人間を相手にする仕事で信頼関係を最も大切にしていると話した。参加者は、普段は聞くことの少ない俳優の素顔や映画製作の舞台裏、そして信頼を築きつつ映画監督として自身のスタイルを貫き通す若松氏の姿勢に、大いに惹き付けられていた。



西木正明客員教授 特別講演会

実施日 平成 25 年 11 月 18 日(月)

会場 男鹿市立男鹿南中学校

演題 歴史の転換期をどう生きるか

講師 秋田大学客員教授 西木 正明 氏

「歴史の転換期をどう生きるか」と題した今回の特別講演会では、男鹿南中学校の生徒教職員をはじめ保護者や市民など約 250 名が、明治維新以降世界の列強と戦った日本の歴史をひもとく西木氏の話しに熱心に耳を傾けた。

西木氏は講演で、日本側から見た歴史を立場の違う他国が見れば全く違う歴史となり得るため、歴史に絶対は無く、歴史認識の一致は非常に困難であることを各国が共通理解することが必要であると述べた。また、戦争とは数十年も前からの伏線があって起こるもので、今の日本の現状からは数年後に戦争が始まってもおかしくない点を指摘し、戦争を決して起こしてはならない準備を早急に進める重要性を話した。

講演終了後には会場からの質問に答える時間が設けられ、中学生からは「作家になるにはどんな努力をすれば良いか。」「本を一冊書き上げるのにどのくらい要するか。」「どうして作家を目指そうと思ったのか。」等といった質問が出された。

これに対し西木氏は、「とにかく本をたくさん読むこと、マンガでも読まないよりは良い、これが一番の近道である。」「最短は 300 ページを 10 日(これは期限を間違えて催促されたため勢いで書いた)、最長は 5 年かかった。平均的には 3 ヶ月程度である。」「作家にしかねなかったというのが正しい。実家は医者で最初は自分も目指したが案の定医学部を落ちたためジャーナリストの道に進んだ。原稿を書くのが好きで、就職当初は満足していたが、上司になると部下の書いた原稿を添削するだけになってしまい、自分で原稿を書くことがなくなった。それで会社を辞めて作家になった。」等と答えていた。



男鹿の未来を創る子ども育成フォーラム 2013

実施日 平成26年1月8日(水)

会場 男鹿市民文化会館

基調講演 「学力形成に関わる要件とは」

男鹿なまはげ分校長 濱田 純 (当時)

事例発表 「釈迦内サンフラワープロジェクト」

大館市立釈迦内小学校長 五十嵐 経 氏、 児童有志

パネルディスカッション

テーマ「子どもを育てるトライアングルをどうつくるか」

コーディネーター

男鹿なまはげ分校長 濱田 純 (当時)

パネリスト

大館市立釈迦内小学校長 五十嵐 経 氏

釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員長 日景 賢悟 氏

男鹿市校長会長 浅井 繁樹 氏

男鹿市PTA連合会長 松野 美智子 氏

男鹿市教育委員会教育長 杉本 俊比古 氏

男鹿市民文化会館において「男鹿の未来を創る子ども育成フォーラム2013」を開催し、市内の小中学校教職員や保護者など約150名が参加した。

始めに濱田分校長が、『学力形成に関わる要件とは』と題した講演で、50年前の学力テスト最下位県であった本県が、なぜ現在好成绩を収めるようになったのかをひもとき、学校・家庭・地域・行政の三角錐の立体的トライアングルが『生徒の心の安定・学習意欲・自信・楽しさ』という良好なサイクルを生みだしている点を強調した。

大館市立釈迦内小学校の五十嵐校長の事例発表では、同校が取り組んでいる『釈迦内サンフラワープロジェクト』について、企業・地域と連携して進めているひまわり油等の生産・販売活動を通じ、子どもたちの『前に踏み出す力・考える力・チームで働く力』が高まってきたとの説明があった。

パネルディスカッションでは、釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員長の日景賢悟氏から「各地域でその地域の特徴を生かし、地域をベースにそれぞれができる



事を考えていければ一つのプロジェクトが出来るし、それほど困難な取り組みではない。釈迦内をモデルに、このような取り組みが広がっていただければと願っている。」と男鹿地域へのエールがあった。

休憩時には、釈迦内小学校の子どもたちによるひまわり油等の販売も行われ、渡部幸男市長をはじめ多くの方が購入していた。



平成 25 年度中学準備教室「男鹿なまはげ塾」

実施日 平成 26 年 3 月 20 日(木)～22 日(土)

会場 男鹿市脇本公民館

内容 中学校入学を控えた小学 6 年生に対し、近い将来のモデルとなる大学生からの学びを通して中学校生活への関心や意欲を高めてもらう。

- ①大学生による講話
- ②自学自習の支援
- ③大学生と参加者との座談会

参加者 秋田大学生 9 名

秋田県立大学生 3 名

男鹿市内小学 6 年生 12 名

この春中学校へ進学する男鹿市内の小学校卒業生を対象に、中学校生活や授業へスムーズに取り組めるよう実施したもので、12 名の生徒が参加した。

教室では、大学生が参加した生徒へ中学校生活の体験談やアドバイス、学習支援を行ったほか、最終日には身近な先輩として生徒たちからの自由な質問に答える座談会を行った。

座談会では、参加した生徒から中学校生活での学習や友人関係、部活に関する質問等が寄せられ、学生らは「先生や上級生へきちんとあいさつすること」「部活等で帰りが遅くなるが毎日の学習時間を確保すること」「友人をつくるために積極的に話しかけること」など、自身の中学校生活での体験をもとに中学校生活を充実させるためのアドバイスを送っていた。



アンケート・感想

「開設記念行事」アンケート 平成25年9月30日(月)開催

参加者数	195 名
------	-------

回収数	131 名
-----	-------

回収率	67.2 %
-----	--------

◎参加者別アンケート回収数

① 一般参加者	72 名
---------	------

② 学 生	16 名
-------	------

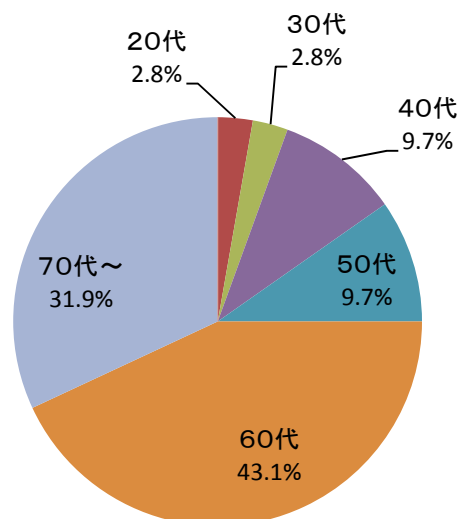
③ 公務員	43 名
-------	------

① 一般参加者集計

1 年齢

	回答数	構成比
10代	0	0.0%
20代	2	2.8%
30代	2	2.8%
40代	7	9.7%
50代	7	9.7%
60代	31	43.1%
70代～	23	31.9%
無回答	0	0.0%
合計	72	100.0%

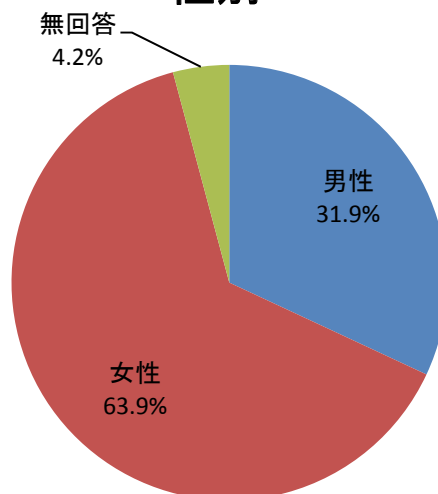
年齢



2 性別

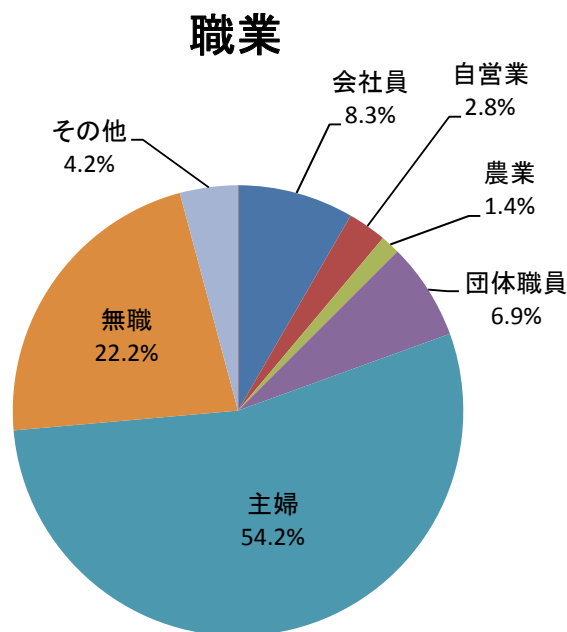
	回答数	構成比
男性	23	31.9%
女性	46	63.9%
無回答	3	4.2%
合計	72	100.0%

性別



3 職業

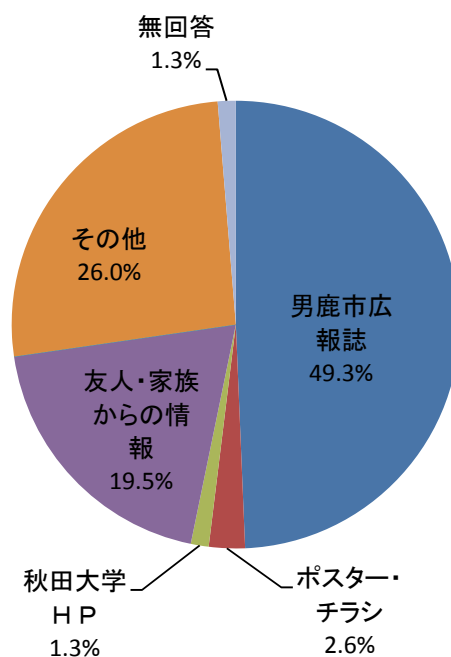
	回答数	構成比
会社員	6	8.3%
自営業	2	2.8%
農業	1	1.4%
団体職員	5	6.9%
主婦	39	54.2%
無職	16	22.2%
その他	3	4.2%
無回答	0	0.0%
合計	72	100.0%



4 記念行事をどのようにして知ったか (複数回答可)

	回答数	構成比
男鹿市広報誌	38	49.3%
ポスター・チラシ	2	2.6%
秋田大学HP	1	1.3%
友人・家族からの情報	15	19.5%
新聞・ニュース	0	0.0%
その他	20	26.0%
無回答	1	1.3%
合計	77	100.0%

どのようにして知ったか



【「その他」の主な内訳】

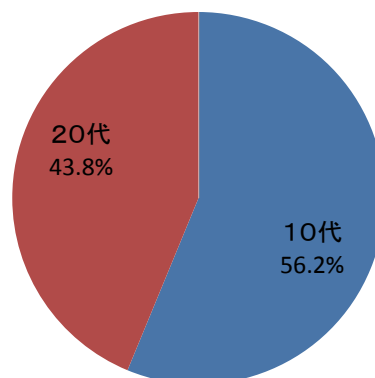
- ・男鹿市からの案内 (9)
- ・婦人会 (6)
- ・講演者より聞く (1)
- ・町内会 (1)

② 学生集計

1 年齢

	回答数	構成比
10代	9	56.2%
20代	7	43.8%
30代	0	0.0%
40代	0	0.0%
50代	0	0.0%
60代	0	0.0%
70代～	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

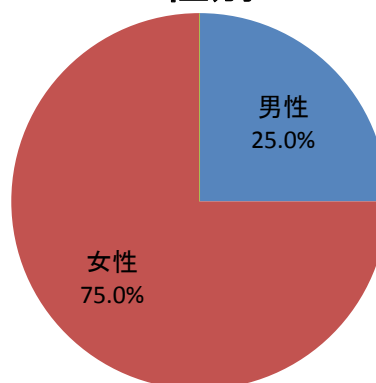
年齢



2 性別

	回答数	構成比
男性	4	25.0%
女性	12	75.0%
無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

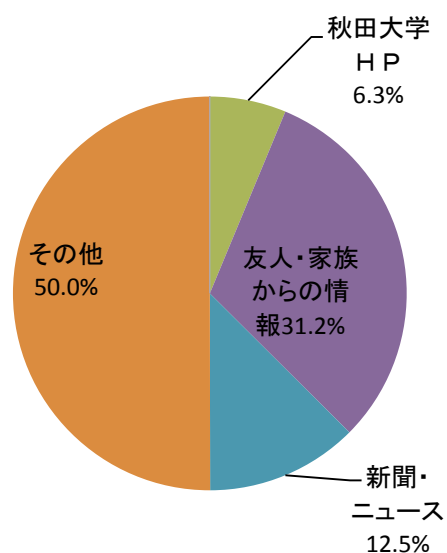
性別



3 記念行事をどのようにして知ったか (複数回答可)

	回答数	構成比
男鹿市広報誌	0	0.0%
ポスター・チラシ	0	0.0%
秋田大学HP	1	6.3%
友人・家族からの情報	5	31.2%
新聞・ニュース	2	12.5%
その他	8	50.0%
無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

どのようにして知ったか



【「その他」の主な内訳】

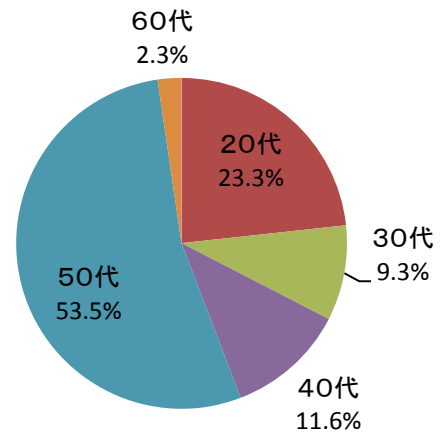
- ・サークル (3)
- ・他行事参加 (1)

③ 公務員集計

1 年齢

	回答数	構成比
10代	0	0.0%
20代	10	23.3%
30代	4	9.3%
40代	5	11.6%
50代	23	53.5%
60代	1	2.3%
70代～	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	43	100.0%

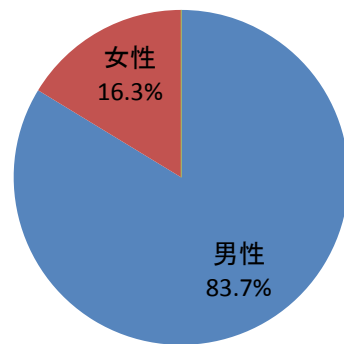
年齢



2 性別

	回答数	構成比
男性	36	83.7%
女性	7	16.3%
無回答	0	0.0%
合計	43	100.0%

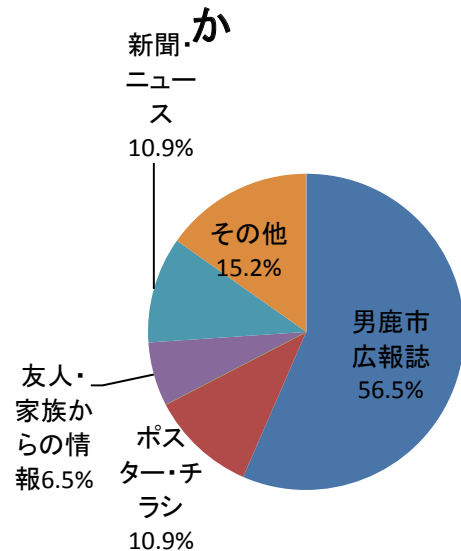
性別



3 記念行事をどのようにして知ったか (複数回答可)

	回答数	構成比
男鹿市広報誌	26	56.5%
ポスター・チラシ	5	10.9%
秋田大学HP	0	0.0%
友人・家族からの情報	3	6.5%
新聞・ニュース	5	10.9%
その他	7	15.2%
無回答	0	0.0%
合計	46	100.0%

どのようにして知ったか



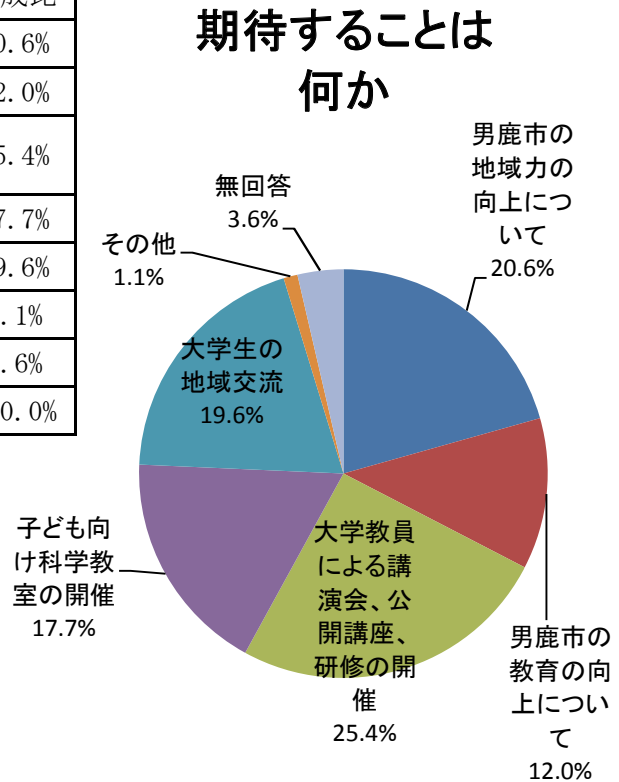
【「その他」の主な内訳】

- ・学校からの文書 (1)
- ・動員 (2)
- ・案内 (1)

全 体 集 計

秋田大学男鹿なまはげ分校の開設に期待することは何か (複数回答可)

	回答数	構成比
男鹿市の地域力の向上について	57	20.6%
男鹿市の教育の向上について	33	12.0%
大学教員による講演会、公開講座、研修の開催	70	25.4%
子ども向け科学教室の開催	49	17.7%
大学生の地域交流	54	19.6%
その他	3	1.1%
無回答	10	3.6%
合計	276	100.0%



【「男鹿市の地域力の向上について」具体的に】			
20代	男性	学生	若者の誘致
20代	女性	学生	魅力がたくさんあるので発信していくことが大切だと思います
50代	男性	公務員	ジオパークの活用
50代	男性	公務員	学生の立場から地域の活性化に取り組む
20代	男性	公務員	少しでも活力ある街にしていきたい。
20代	男性	公務員	学生みなさんに男鹿にたくさん遊びに来てほしいです
40代	男性	会社員	ジオパーク、観光資源の活用
50代	女性	主婦	町がにぎやかになってもらいたい
50代	男性	会社員	地域活性化
60代	女性	主婦	きてたのしめる何かがあればいいと思います
60代	女性	無職	企業誘致
60代	女性	主婦	若く新鮮な風を吹きこんでほしい
70代～	男性	無職	人と人の絆

60代	女性	主婦	学生がきて男鹿市民を刺激して!!
60代	女性	主婦	若い人の力が発揮できる地に
70代～	男性	無職	地場産業の育成について
40代	男性	団体職員	観光、商店街活性化、交流人口の増加、客数の増加
50代	男性	会社員	若者の地域定着率向上
70代～	女性	主婦	男鹿発展を良くする事
70代～	女性	主婦	若い創造力に期待、若い人の定住
60代	女性	主婦	学生との交流で観光、特産物の開発

【「男鹿市の教育の向上について」具体的に】

20代	女性	学生	地球資源
50代	男性	公務員	秋田大学の教育力を市内へ浸透
20代	男性	公務員	基本的な問題を解く力の向上
40代	女性	公務員	市内の子どもの身近な存在
40代	男性	会社員	英語
70代～	男性	無職	高齢者の一般教養への参加
50代	女性	主婦	すぐれた人がいっぱいふえてほしい
60代	女性	無職	教師の質の向上
60代	女性	主婦	直接子ども達に触れ合う
60代	女性	主婦	ミニ実習
70代～	女性	主婦	より高く教育を広めたい
70代～	女性	主婦	小中高生の学力向上、特に英語力

【「子ども向け科学教室の開催」意見】

60代	女性	主婦	科学離れにストップ!!楽しさ、不思議さを
-----	----	----	----------------------

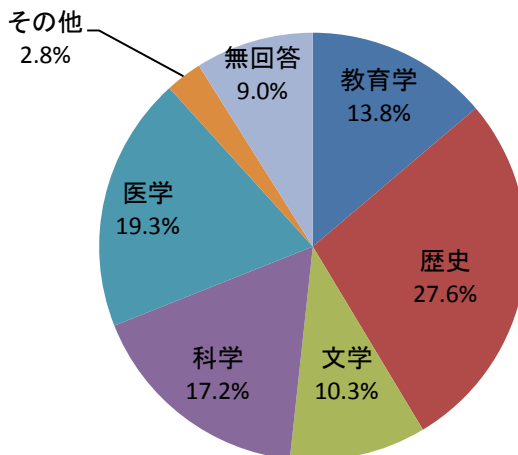
【「大学生の地域交流」意見】

60代	女性	無職	合唱団に歌を教えて欲しい。一緒に合唱希望
70代～	男性	無職	ナマハゲ行事(大みそか)の参加

【大学教員による講演会、公開講座、研修の開催】を選んだ方に尋ねた。希望する分野は（複数回答可）

希望する分野

	回答数	構成比
教育学	20	13.8%
歴史	40	27.6%
文学	15	10.3%
科学	25	17.2%
医学	28	19.3%
その他	4	2.8%
無回答	13	9.0%
合計	145	100.0%



【「大学教員による講演会、公開講座、研修の開催の希望する分野 その他」意見】			
60代	女性	主婦	1年に一度でも良いですが、音楽交流をしたら、良いと思います
50代	男性	団体職員	男鹿市内の地域力向上に結び付くもの

感想を自由に記載（原文のとおり）

50代	男性	公務員	男鹿地域の食の利活用(弁当など)
50代	女性	公務員	高齢化が進む男鹿市において地域防災をどのように行っていけばよいか。具体的なノウハウを教えていただき地域と一緒に防災計画を策定して行ってほしいです。 今日のようなすばらしい合唱をまたきかせてほしいです。
50代	男性	公務員	目に見える効果を出してもらいたい。
50代	男性	公務員	学生さんから、小学生高学年、中学生に向けた講演をしていただきたい。自分の夢を実現するため、どのような努力をしているか?その夢に向かうキッカケはどんなことだったか? キャリア教育の一環として、有効だと思う。
20代	男性	公務員	とてもいい講演会でした。
20代	女性	公務員	合唱、とても良かったです。
20代	男性	公務員	・話だけではなく、合唱など、イベントに波があつて楽しかった。毎年開催して頂ければ幸いです ・ジオパークの曲を作ってほしいです！（エース・クワイアさんへ）
20代	男性	公務員	学生さんが県内で就職できるよう取り組んでほしいです。コーラス・講演会共にすばらしかったです。
50代	男性	公務員	学生と男鹿市民との交流。 学生と幼、保、小中学生との交流。

50代	男性	公務員	大学生と市民の交流の場が多くなり、地域の活性化が図られる。
50代	女性	公務員	男鹿が元気なる講演でした、ありがとうございました。
40代	男性	会社員	なまはげ分校の活動が、男鹿市の活性化につながるよう期待しています。
50代	女性	主婦	前より大学がちょっと身近になる気がしています。
60代	男性	団体職員	コーラス毎年頼む
60代	女性	主婦	合唱が大変良かったです ありがとうございました
60代	女性	主婦	何年前に芸大の学生たちとワークショップに参加したことを思い出しました。子供達と若い人達との交流があることは大変良かったと思いました。出来ればその様な事が出来ればうれしいと思います。
60代	男性	無職	合唱団ありがとうございました 皆さんで男鹿を、秋田を、日本を元気にして!
60代	男性	その他	男鹿をよろしく
50代	男性	会社員	秋田大学が秋田県を牽引し共に発展しつづけることを期待します。
70代～	女性	主婦	大いに希望します

「男鹿の未来を創る子ども育成フォーラム2013」感想

平成26年1月8日(水)開催

<p>発想の転換をいろいろ教えていただきまして、ありがとうございました。</p>
<p>S Pプロジェクト「地域に学校ができること」という発想は目からウロコでした。</p>
<p>お二人の言葉には本当に重みがあり、とても良い刺激をいただきました。教員という立場の私から見ると、日景さんのような方との出会いが本当にうらやましくもあります。</p>
<p>地域を支援するためにそれぞれ何ができるのか。それを考えていくことがこれからの秋田を明るくしていけるきっかけになると強く信じました。</p>
<p>地域と学校の役割を、発想の転換で変えていけたらという思いを強くしました。素晴らしい取り組みで、前向きな発想が人を強くし地域を活性化させるのではないかと思います。男鹿でできる事を考えたいと思います。</p>
<p>今、勤務している学区で何ができるか、自分の出身地には何があるのかをイメージしながら聞きました。いろいろなアイデアがわいたので、できるところから取り組んでいきたいと思いました。子どもたちが地域を好きになるすばらしい取り組みだと思いました。</p>
<p>地域を愛し、地域に根差して生きていく人を育てるために、何ができるか考えていきたいと思いました。</p>
<p>今日は素晴らしい活動について様々なことを知ることができて、本当に有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。参加してよかったです。日景さんの考え方に感銘を受けました。自分の生き方に参考となる言葉がたくさんありました。</p>
<p>今日はとても充実した時間を過ごさせていただきました。日頃から「何か子どもたちとすごくワクワクするような地に足がついたことをしたい。」と思っていましたが、今日はそのヒントをいただいたなあと思いました。やる気が出ました。</p>
<p>地域を作るのは人の思いであることを改めて感じました。そして、アクションを起こすこと。悲観的になる前に、まずは自分でできる事を行動に移すことが大事であることを教えていただきました。郷土愛を育てる教育を大切にしていきたいです。</p>
<p>日景さんのような人材(存在)・プロジェクトというのはなかなか稀有なものと思うのが正直なところですが、加えて校長先生との奇跡的な邂逅があって、その活動力と。それでも、男鹿でもその一端をまねることはできるのではないかと思います。</p>
<p>現場で働いている一教諭としては、「時数」、「段取り」をつい考えてしまうのが現実です。コンセプトが「地域主導」であれば今日の貴重なお話は我々現場とともに、地域の方、企業の方々にも是非聞いていただきたいかと思いました。</p>
<p>地域が中心であるという発想、是非取り入れていきたいと思いました。汗をかいて学んだこと、子どもたちの頭と心に強く残っていくだろうと思います。</p>
<p>何でもアクションを起こしてみるということが大切だと痛感しました。忙しい現場だからこそ、こういった取り組みによって心にゆとりがもてるのかもしれない。参考になりました。</p>
<p>この活動はテレビで拝見したことがありました。ここまでガッチリしたものと思わず、今日話を聞いて開いた口がふさがらないような驚きがたくさんあったと感じます。自分(学校)たちが本部になって発信しなければ・・・と考えていたので、「自分たちができることをやる。」という考え方がとても印象に残りました。</p>
<p>感動の実践紹介ありがとうございました。輝く大人が輝く子どもを導くのですね。なかなか輝くことのできない我が身ですが、今日のお話を糧に3学期に向かいたいと思います。来夏はヒマワリを見に行きます。</p>
<p>あまりにも壮大で、考えられた取り組みであり、正直一体どこまで自分たちの教育活動に生かせるかは分かりませんが、「自分のできる場所」からがんばりたいと思いました。</p>
<p>「学校を中心に考えるのではない」、「できることを持ちよって、何かができあがる」、「学習意欲」ではなく「生きる意欲」があると新しい学びをたくさん得ることができる。「頑張る意欲」がわいてきました。</p>

<p>この釈迦内SPの活性化を促しているのは、やはり校長先生や日景さんの情熱なんだと思った。（「楽しんでやっているだけ」と謙遜されていたが、教師の姿勢として学ぶべき点が大きかった。）</p>
<p>発想力、人間関係づくり、実行力など、これまでの考えを見直したり、刺激をもらったりした貴重な時間でした。</p>
<p>それぞれの立場で無理せず、できることをするのが大切だとわかりました。ともすれば一面ばかりに目がいきがちなので、発想を変えることができたのでよかったです。</p>
<p>プロジェクトに関わった全ての人たちに感動です。男鹿でも何か私たちの関われるプロジェクトが生まれることを期待しています。</p>
<p>自分の勤めている学校の地域では何を柱にして地域を盛り上げていこうかなど、無意識に考えていました。子どもたちがまた自分の地域に戻って来られるような釈迦内のプロジェクト、いいなあと思いました。</p>
<p>サンフラワープロジェクト、素晴らしいと思いました。発想、行動力・・・何かしら取り入れたらいいなと思います。</p>
<p>楽しそうに活動している子どもたちの様子が印象的でした。体験活動を通しての変化、成長の大きさについて学ばせていただきました。大学を出たばかりでわからないことが多いのですが、多くの活動を通して子どもの成長に関わっていきたいです。</p>
<p>素晴らしいプロジェクトであり、これから取り組むべきヒントがいっぱいありました。</p>
<p>秋田を元気にしたいという思いが伝わりました。けど、心配なのは、「地域の良さ」って本当に他県の人々にとって「良いもの」でしょうか？ いつも私が感じている秋田県民の「甘さ」があるような気がします。</p>
<p>戦略を持った委員長と情熱あふれるビジョンを示した校長先生のもとで展開されたSPの実践力、今後の更なる継続と発展を期待します。「地域支援学校本部」の発想とても参考になりました。</p>
<p>お話も楽しく、取り組みも参考になりました。「男鹿だったら何ができるのか・・・」と考えるだけで、わくわくしてきます。子どもたちのために何ができるか、これからも考えていきたいと思います。</p>
<p>「学校は地域の文化の担い手」と県北勤務の初任のころ学びました。なくしてはいけないこと、なくせないものをしっかり見つめて「男鹿で生きるために出来ること」を子どもと見つけていきたいと思います。</p>
<p>発想を変え、視線を変えることでいろいろな可能性が見えました。学校を地域の元気の源にできるよう工夫していきたいと思います。</p>
<p>SPプロジェクトというすばらしい取り組みを聞くことができよかったです。男鹿市民として何ができるのか考えていきたいと思います。子どもたちにもこのプロジェクトや釈迦内小の子どもたちの様子・活動を知らせる機会を持ちたいです。</p>
<p>五十嵐校長先生の果敢なプロジェクトがすべて「子どものためになるか否か」にあることに共感しました。攻めの発想(戦略)を大事にしていきたい。地域の活性化と子どもたちに「真剣に生きる力・意欲」を育てていきたいと思います。</p>
<p>「できること」を持ちよる。この発想を学級経営に生かしていきたいと思います。</p>
<p>何でもしてもらおうのではなく、学校が地域のために何ができるかという観点で考えを進めているところが新しい発見でした。教師として自ら働きかけ、自ら動くことが大切だと改めて教えられました。</p>
<p>地域ぐるみでの取り組みが素晴らしいと思いました。学校で何かを作り、販売等はよく聞きましたが、スケールの違う話を聞くことができ大変感動しました。</p>
<p>地域と教育の現場が協力していてとても参考になりました。子どもたちが地元に戻ってきたいと思える教育について考えさせられました。人それぞれが自分にできることを行うことで、自信になり全体で地域を活性化できるのだなあと感じます。</p>

何ができるのかを考え、逆転の発想で取り組んでいる姿がすばらしいと思いました。男鹿にはいろいろな素材があるので、何かできそうだという気持ちになりました。

色々な発想の転換が大切だと思います。DO it!ですね。やってみることが大切だと思った。

プロジェクトのディスカッションを通して、実際に聞いてみないと分からない面もたくさん知ることができました。新たなプロジェクトでない、今ある活動もこのようなコンセプトでやっていくことが、楽しく継続できる土台となると感じました。

地域一丸となってやっていることが、いろいろな場で相乗効果をもたらしているのがすばらしいです。元気と意欲、希望をいただきました。

学校が中心ではなく、地域を中心にする発想が新鮮でした。すると各学校との連携も図られ、子どもたちの教育に有効に働くと感じました。

地域と密着した学校の取り組みを紹介していただきありがとうございました。

私も男鹿出身で男鹿で働いている身ですので考えさせられました。同時に、考えているだけではいけないのだとも。参考になりました。

日景さんとてもステキです。釈迦内小の子どもたちは、地域に生きる温かい大人たちとふれあって日景さんのようになる人が増えると思います。ひまわり油が、その良さが評価されて定番商品となって続きますよう。

考え方の違いで、できることも増え、地域の人として生きることができるといことが分かりました。(教員以外の)違う世界の人のお話を聞くというのはためになります。

地域が主体となって動いていくということが、とても大きいのではないかと思います。やはりやっていく以上、中心となる組織が必要かなと思うので、自分も住んでいる地域へ働きかけたり学校の現場の一員としてやれることをやっていったりできればと思いました。

実際に行動する姿、形にする力に感心いたしました。それが子どもたちのため、地域のために行われていること。そして決して力を入れすぎている、いい意味で余裕を持った活動をしていること。是非、参考にしていきたいと思いました。

本校では、なまはげを柱にした総合的な学習に取り組んでいます。今日、お聞きしたことを参考にしていきたいと思います。

地域を愛する力、地域を大切に思う心を育てる実践教育をととても素晴らしいと思いました。高齢化に向かっている秋田県、男鹿市を活性化させるために何かできることをできる範囲で行動していきたい気持ちになりました。

自分のためにだけでなく、地域のために熱意をもって働くことに感銘を受けました。自分たち教員も地域の一員として、地域に還元できることを考え行動していきたいと思います。

本当の学力とは何か改めて考えさせられました。すばらしい取り組みです。これからも、より一層発展することを祈念しています。この活動が秋田県全体を活性化してくれることを今後も期待します。

新しいことを生み出すことは確かに大変です。続けることはもっと大変だと思います。それを無理せず、自然体でやっている姿にたくさんのことを学ばせてもらいました。

今日は貴重な時間をありがとうございました。「人を育てる」にはまずそれぞれが「楽しむ」こと。無理のない範囲で「できること」を実践すること、何より仕掛けて組織で進めて行くことが大切だと分かりました。これからがんばります。

素晴らしいプロジェクトですね。ここまでするのに大変だったと思いますが、話を聞いていて楽しんで取り組んでいる様子がすごく良く伝わってきました。考え方を变えたいと思いました。

ひまわりを商品化していったアイデアはすばらしい。子どもたちに自信を持たせるだけでなく、販売についても、挫折を味わってもそれを乗り越えていける強さを育てていることに感動しました。

<p>何かを始める時に、大事なことは人との出会いだと思いました。男鹿市に日景さんになれる人はいるのかな</p>
<p>発想の転換が必要だということが良くわかりました。地域のためにできることは何なのか、今一度考えてみたいと思います。</p>
<p>まちづくりのモデルとして、様々な方々を巻き込んで進められていることに驚きました。</p>
<p>S Pプロジェクトの取り組みや基調講演大変参考になりました。</p>
<p>すばらしい実践の紹介をありがとうございました。大変刺激を受けました。男鹿ならではのものを取り組みたいものです。</p>
<p>人を育てるには大きな目標を持つこと、その目標からブレないことが大切なのがあった。</p>
<p>地域一丸となったすばらしいプロジェクトだと思います。子どもたちの成長が楽しみです。</p>
<p>良い実践を紹介してくださりありがとうございました。</p>
<p>子どもたちの元気な姿が印象的でした。</p>
<p>楽しんでどんなこともできることの素晴らしさを再確認しました。</p>
<p>とてもわかりやすいお話で、この後の活動の指針となるような気がしました。</p>
<p>ひまわりの花が、大きく咲くように活動が大きく広がり次の世代、そして次の世代へと引き継がれていったらいいと思います。参考になりました。</p>
<p>教師集団の力はしれているけど、人としての発想力や実行力はあるので、それを信じて行動することが大事だと思った。</p>
<p>貴重な話を聞くことができた。行動あるのみ・学校中心の考えからの脱却。</p>
<p>「地域の核は学校」という発想ではくくれない時代だと感じました。高齢化が進む男鹿市を元気にしたいと感じました。</p>
<p>校長のアイデアとリーダーシップに感心しました。また、日景さんの考えもすばらしいと思いました。</p>
<p>地域づくりに学校がどうかかわれるのか。中心に「地域」があるということで同じ視線が生まれると思いました。目を開かされた思いです。</p>
<p>何かを形づくるには、強いリーダーシップが必要なことを改めて実感しました。日景さんのような人物がいるかないかですぐにぶん違います。がんばってください。</p>

分校に関する新聞記事

NO	掲載日	新聞名	記事の見出し
1	H25. 6. 14	秋田魁	秋大、男鹿市に分校 9月にも 県内3カ所目地域活性化へ拠点開設
2	H25. 8. 20	秋田魁	秋大の生涯学習拠点 名称は地域色豊か「男鹿なまはげ分校」
3	H25. 8. 27	読売	男鹿なまはげ分校 秋田大が来月開設
4	H25. 9. 7	秋田魁	コラム「コンパス」 堅くない大学
5	H25. 10. 1	秋田魁	「男鹿なまはげ分校」開校 子どもの学力向上や防災教育・・・ 秋田大、地域貢献拠点に
6	H26. 1. 11	秋田魁	男鹿で「子ども育成フォーラム」 学校、家庭、地域連携を 大館の児童ら事例発表
7	H26. 3. 16	秋田魁	男鹿なまはげ分校・茂木氏 「夢と希望を与える事業展開したい」 市役所で就任あいさつ



秋田大学男鹿なまはげ分校

〒010-0595

秋田県男鹿市船川港船川字泉台66-1

男鹿市役所総務企画部企画政策課内

TEL 0185-24-9126 FAX 0185-23-2424

E-mail oga-bun@gipc.akita-u.ac.jp

編集・発行 秋田大学男鹿なまはげ分校
秋田大学地域創生センター

平成26年6月